

# 資料 2 - 5

## (福岡県)

# 福岡県内におけるクラスター発生状況について

## 福岡県保健医療介護部

### 1 クラスター発生状況について

※クラスター:同一の場において5人以上の感染者が明らかとなっているもの

令和2年7月8日現在

施設区分		件数
医療機関	病院	7
	診療所	1
福祉施設	高齢者福祉施設	5
	児童福祉施設	1
	障害者福祉施設	0
飲食店	キャバレー等	1
	ナイトクラブ等	1
	バー、酒場等	2
	その他	0
運動施設等(スポーツジム・運動教室含む)		0
学校・教育施設等		2
官公庁		0
企業等		1
ライブハウス等		0
その他		1
計		22

①

## 1 クラスター発生状況について

### ○医療機関:県内で8件発生

- このうち北九州市内の医療機関で発生した事例
- 救命救急センターを担っている医療機関でクラスター発生
- 国に抗原迅速診断キットの優先供給を要請
- 陽性者の迅速な判定により、早急な抑え込みをした

### ○飲食店:県内で4件発生

- このうち久留米市のフィリピンパブで発生した事例
- 久留米市が店名を公表
- その店に出入りのあった方について相談の呼びかけを実施
- 公表するという手法により、感染拡大の抑え込みをした

②

## クラスター発生防止に係る取組み

福岡市中洲の事例では、感染者が店名を明かさず、濃厚接触者の追跡が難航していたため、同地区の「接待を伴う飲食店」に勤務する者を対象としたPCR検査を実施。

### 1 目的

6月に確認された新型コロナウイルス感染症の陽性患者のうち、9名が中洲地区の「接待を伴う飲食店」の客や勤務している者であったことから、同地区において感染のおそれがある者を早期に発見し、感染拡大を阻止するとともに、県民の安心につなげること。

### 2 取組み内容

中洲地区の「接待を伴う飲食店」(風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条第1項第1号営業許可施設)に勤務する者を対象に、症状の有無に関わらず、PCR検査を受けることができる旨、6月24日付で、約900の店舗宛てに県と福岡市の連名で呼びかけ。

③

## クラスター発生防止に係る取組み

### 3 受付期間

令和2年6月30日まで

### 4 受検希望者数・実施件数等

400人を超える受検希望があり、7月8日現在、検査を終えた414人全員が陰性であり、検査に協力いただいた店舗については、従業員の方々の安心につながった。

### 5 県と市の連携

検体採取の支援のため、県の保健所の医師や看護師を市に派遣し、県と市が連携して検査を実施した。

④

## クラスター発生事例〈小学校〉

北九州市内で確認された陽性患者が在学している小学校について、北九州市が疫学調査を実施。

この件については、国のクラスター対策班に調査に入ってもらっている。

### 1 概要

- ・ 最初の患者は、大人の感染から探知された。
- ・ 着席した児童がおしゃべりする際に、体の向きを変えたりすることにより、近くなっていた可能性がある。
- ・ 感染が判明した児童の中には、仲が良く、一緒に遊んだことや下校したことなど、接触の機会が確認された。

⑤

### 2 厚生労働省クラスター対策班からの報告(暫定)

- ・ 感染伝搬の機会の可能性としては、授業中や授業以外の活動中が考えられるが、完全にこれらの機会を排除するのは非常に困難であることから、排除可能なリスクは排除したうえで、教育や日常の交流機会を失うことのないようにする。
- ・ 平時及び発生時の対策について、小児科医、校医、感染管理の専門家、保健所などの専門家と連携をとる体制を整える。
- ・ 必要に応じ、校医や職員に対して、感染管理専門家によるトレーニングを実施する。

# 資料 2 - 6

## (大阪府)

新型コロナウイルス感染症患者が発生した府内のライブハウスへの対応について

本日をもって当該ライブ参加者に対する検査受診の呼びかけは終了する。  
ただし、ライブに参加された方で体調が悪い方は引き続き新型コロナ受診相談センター(帰国者・接触者相談センター)に相談していただきたい。

(1)経過

新型コロナウイルス感染症患者が大阪市内のライブハウスで開催されたライブに参加し、不特定多数の人と接触したことが判明したことを受け、当該ライブハウスの協力を得て、府のホームページなどを通じて、ライブハウス名を公表し、参加者及びその濃厚接触者に対して、注意喚起を行うとともに、新型コロナ受診相談センターへの相談を呼びかけた。

また、ライブハウスに端を発する集団発生(クラスター)が継続して発生している可能性があったことから、3月1日に新型コロナウイルス厚生労働省対策本部クラスター対策班の派遣を要請した。

加えて、コンサートには府内だけでなく、全国から参加していることが予想されたことから、関西広域連合や全国知事会を通じて、全都道府県に対し、注意喚起の協力を依頼した。

<対象となったライブハウスおよびライブ日時等>

ライブハウス名	所在地	日時	参加者	注意喚起日
① 大阪京橋ライブハウス Arc(アーク)	都島区	2/15	120名程度	2/29
		2/16	100名程度	3/4
② Soap opera classics Umeda (ソープオペラクラシックス梅田)	北区	2/19	100名程度	3/4
		2/23	約80名程度	3/4
		2/24	不明	3/7
③ Live House Rumio (ライブハウスルミオ)	北区	2/18	不明	3/7
④ americamura FANJ twice (アメリカ村 ファンジェイ トゥワイス)	中央区	2/21	不明	3/7

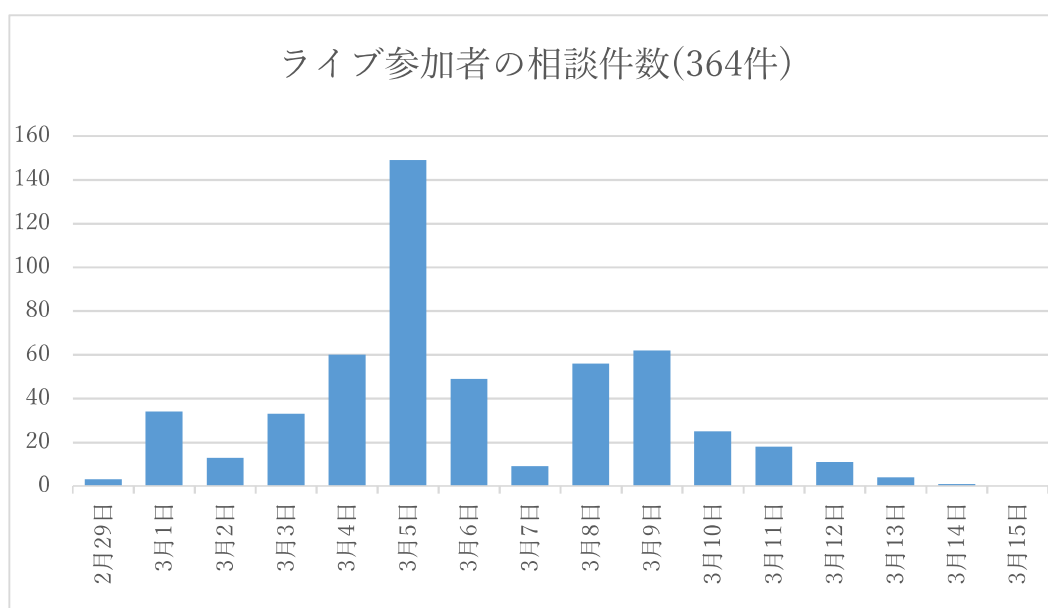
- 3月1日 新型コロナウイルス厚生労働省対策本部クラスター対策班の派遣要請
- 3月4日、5日 関西広域連合で注意喚起の依頼
- 3月5日 全国知事会で注意喚起の依頼
- 3月6日 厚生労働大臣の記者会見で注意喚起

(2) 相談の状況

実際に当該ライブハウスに参加した方からは、府の専用電話相談窓口及び新型コロナ相談センター(帰国者・接触者相談センター:府内18か所)に、延べ364件の相談があった(ライブハウスに関する相談としては、合計527件)。

特に、ライブハウス名を公表し、注意喚起を行った直後に多くの相談をいただいた。

ライブハウス名	参加者の相談件数	<参考:ライブに関する相談件数>
① 大阪京橋ライブハウス Arc	150件	※ライブハウス毎の内訳は不明
② Soap opera classics Umeda	146件	
③ Live House Rumio	11件	
④ americamura FANJ twice	37件	
◆ 複数ライブハウス滞在	20件	
(合計)	364件(延べ件数)	(左記も含め合計527件)



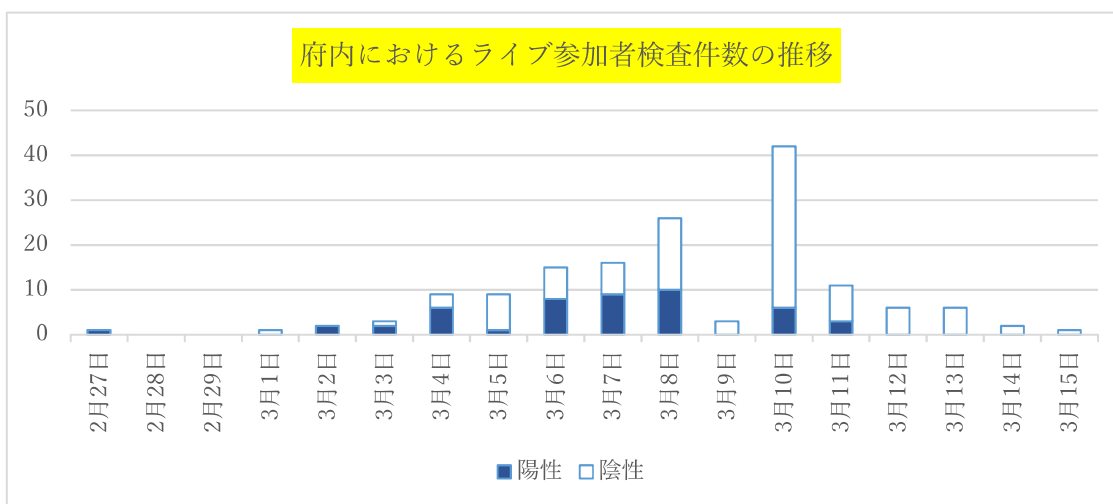


(3) 検査件数及び検査結果の状況

ライブハウスに参加した方で、府内で検査を受けた方は、153人(府外で検査を受けた方の人数は不明)であり、その内、陽性の方は48人、陰性の方は105人となっている。

また、府外で陽性となった人数は、確認がとれている範囲で35人。

府内、府外をあわせて、ライブハウスに参加した方で、陽性となった方は、合計で83人となった(3月15日時点)。



(4) 陽性者の状況

4つのライブハウスでのライブに参加した方の陽性者数は府内で48人であったが、1つのライブに参加した人だけでなく、複数のライブに参加した人もいた。

府外の感染者35人の内訳は、兵庫県が10人と一番多く、次いで東京都、京都府となっていた。(現時点で把握している範囲)。

<ライブハウス関連陽性者の内訳(全体)>

	ライブ参加者 (府内)	ライブ参加者 (府外)	ライブ参加者の 濃厚接触者等	合計
① 大阪京橋ライブハウス Arc	8人	16人	/	/
② Soap opera classics Umeda	30人	16人		
③ Live House Rumio	-	1人		
④ americamura FANJ twice	2人	2人		
◆ 複数のライブハウスに滞在	8人	-		
(合計)	48人	35人	22人	105人

